

市丸小だより

令和5年11月2日(木)市丸小学校 No.14

144年のよき伝統の継承と笑顔あふれる学校へ

家庭数配布 文責 校長 本庄 裕子

「北九州市子ども読書の日」の取組



本市は、日々の生活の中で進んで本を手にとって読み、楽しく自主的に読書に親しむことができるように、「北九州市子ども読書の日」を令和5年度は10月22日に制定しました。読書は、「言葉の力をつける」「自分ができないことを疑似体験できる」「自分を高める」など、様々な発見や感動をもたらすものです。多くの生きる力を身に付けることに役に立つ大切なものです。

本校では、「北九州市子ども読書の日」を中心とする1週間に、「読書郵便」の取組みを行いました。友達におすすめの本を紹介するために、お互いにはがきに推薦文を書いて届ける活動です。児童は、校内に設置したポストに、絵と推薦文を書いたはがきを投函し、図書委員会の児童が宛先の児童に配達します。はがきをもらった児童たちは、嬉しそうに読んでいました。



食育の授業 4年生、1年生

4年生が、総合的な学習の時間でお米について調べる学習を行いました。地域の直売所に米を出荷している生産者の方に米作りをする上での思いや苦勞、願いなどをお話していただきました。子どもたちは、米作りが、生産者の苦勞や努力に支えられていることに気づいていきました。

先日行った「収穫祭」で、お米の秘密について発表することができました。



1年生は、さつまいもを題材にした授業でした。栽培活動を行ったさつまいもが給食の献立の「さつまじる」になるまでの様子やさつまいもを栽培する生産者の方にお話を聞いて学習しました。子どもたちは、生産者の方が安全に作っていることや、給食調理士さんが、丁寧に細かく切って食べやすく調理してくださっていることを知り、感謝の気持ちを高めることができました。



スクール救命士 5年生

北九州市消防局の方のご指導のもと、実践も交えて救急救命の手順を学びました。子どもたちは真剣に話を聞いて、心臓マッサージの仕方やAEDの使い方などを学びました。実際に体験しながら、命を守るための行動の重要性を理解したようでした。貴重な体験になりました。



東谷中学校の先生に学ぶ

6年生が中学校の体育科の土居先生から、ソフトバレーボールを学びました。ボールの受け止め方やつないでいくコツなど、丁寧に教えていただきました。授業の中で上達していく手ごたえを感じたようです。中学校の先生からの教えは、とても新鮮なようでした。



「小倉城竹あかり」のイベントが11月2日～5日に行われます。児童が竹紙に絵を描いた灯籠も飾られます。